

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室), 会議室(1室), 控室等(13室), 駐車場(平日 389台/土日祝日 456台)等		
指定管理者	4期目	H28.4.1~R 3.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用状況	4期	R2	48.0%	18.1%	△33.2ポイント
R1			50.0%	51.3%	△3.3ポイント	1.3ポイント (102.6%)
H30			50.0%	54.6%	2.3ポイント	4.6ポイント (109.2%)
H29			51.0%	52.3%	△1.4ポイント	1.3ポイント (102.5%)
H28			50.0%	53.7%	6.9ポイント	3.7ポイント (107.4%)
3期平均 H23~H27		45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)	
2期平均 H20~H22		43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)	
1期平均 H17~H19		—	46.7%	5.7ポイント	—	
H16 (導入前)		—	41.0%	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言をはじめとする感染拡大防止に向け、催事主催者からの取消が相次いだことにより、目標及び過去の実績を大きく下回った。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	催事主催者アンケート	70件回収 (168件のうち回収率 41.7%)
	【主な意見】	【その対応状況】
	本館に物資の搬入・搬出用エレベーター設置を要望	車椅子用昇降リフトを含め、県に設置要望済
	本館の研修機の老朽化が気になった	23脚を購入した
(参考) 催事主催者満足度(アンケート回収率 41.7%)	催事件数が前年度より半減し、回収率も 27ポイント減じているが、催事者等に対して、懇切丁寧なサービス・接客に努めた結果主催者アンケートの満足度は、スタッフの対応、施設設備において、前年度を上回っている。	
① スタッフ対応	満足 90.0%(R元 84.8%)	
② 施設・設備	満足 72.9%(R元 66.7%)	
③ 開催目的の成果	満足 61.4%(R元 68.7%)	
④ 今後の利用意向	したい 88.6%(R元 92.2%)	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○	必要時に、随時電話 (及びメール) で報告
会議 (随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築 50 年、西展示館は築 30 年経過していることから、修繕の規模や目的、性質により県との役割分担を明確にした上で対応する。		
現地調査 (随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し、長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の回収を進めていく。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R2	55,645		純増	料金 収入 (決算額)	4期	R2
R1			—	—	R1	336,579			△2,038
H30			—	—	H30	338,617			△791
H29			—	—	H29	339,408			△17,421
H28			—	—	H28	356,829			43,212
3期平均 H23～H27		—	—	3期平均 H23～H27	313,617	57,552			
2期平均 H20～H22		—	—	2期平均 H20～H22	256,065	△43,297			
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19	299,362	62,242			
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)	237,120	—			

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2 決算額	R1 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	55,645	—	55,645	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県からの利用制限による利用料金減収分などに対する委託料
		料金収入	124,741	336,579	△211,838	利用料金制 (※1) 2月下旬からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う催事中止等による減
		その他収入	2,292	2,694	△402	
		計(A)	182,678	339,273	△156,595	
	支出	人件費	37,584	40,848	△3,264	有期雇用職員1名減(9月以降)による
		光熱水費	16,913	30,385	△13,472	コロナ感染拡大に伴う催事の中止に伴う減
		設備等保守点検費	7,584	7,642	△58	
		清掃・警備費等	64,603	67,736	△3,133	清掃・警備を行う警備員を5名→4名にしたことによる減
		施設維持修繕費	22,571	41,357	△18,786	優先度が高いものから実施するよう、工事計画の見直しを行ったことによる
		事務局費	26,802	41,368	△14,566	業務見直し(伝統工芸品、酒・食品関連などの県内製品展示入替回数4→3回に減)及び消耗品、備品費等の需用費等縮減による減
その他		6,621	4,256	2,365		
計(B)	182,678	233,592	△50,914			
収支①(A-B)		0	105,681	△105,681		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		0	105,681	△105,681		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>施設のリノベーションとして、床面の剥離や汚れが著しい東展示館第3展示場の床塗装を行うとともに、ひび割れや駐車スペース案内サインの劣化が見られる北駐車場の舗装、打換えなどの整備を行った。</p> <p>令和2年12月に「第4回ひろしまA I・I o T進化型ロボット展示会」を開催し、展示・商談の場を提供するなど県内企業のイノベーション推進に向けた支援に取り組んだ。(出展50企業・団体・機関)、来場者1,500名)</p> <p>「広島BOX〜メイド・インひろしまギャラリー」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において、県内製品等の展示等を行うとともに、「メイドひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。</p>	<p>施設の老朽化が進むなか、利用者の利用促進につながるリニューアルを進めていることで、満足度の向上に努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、県内企業のイノベーション推進を目的とした展示会の開催や、伝統工芸品、酒・食品関連などの県内製品の展示、そして広島で活躍する個人や企業を紹介することで、県の魅力を向上させることに大きく貢献している。</p>
	○業務の実施による、県民サービスの向上		
	○業務の実施による、施設の利用促進		
	○施設の維持管理		
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	<p>昨年3月から続く新型コロナウイルス感染拡大を要因とした催事の中止や延期による大幅な収入減を踏まえて、修繕等工事の延期や事業の見直し等により可能な限り支出の削減に努めた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、工事計画や事業の見直しとともに、警備等業務体制見直しを行うなど、効率的な業務運営に努めている。</p>
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正化		
総括		<p>令和2年度展示場延利用床面積は356,598㎡で面積稼働率は18.1%と、新型コロナウイルス感染拡大による催事の中止等の影響により目標の48.0%を大幅に下回った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により面積稼働率は目標値を大きく下回ったが、その中でも、スタッフ対応や施設・設備において前年を上回る満足度となっていることから、満足度の高い運営に努める姿勢がみられる。</p>

今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	<p>令和2年3月上旬から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響から利用取消が相次ぐ中、施設管理者として、新型コロナウイルス感染症に係る国・県の対応方針に適切に対応するとともに、感染拡大の影響を踏まえた収支予測を行ったうえで、事業の優先順位を付けて実行する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が収束に向かうまでは、指定管理者と県とで連携し、拡大防止に向けた適切な運営を行っていく。</p> <p>収束後を見据えながら、指定管理者と県で連携しながら、県内製品の販路開拓や拡大など県内産業の早期回復につながる取組を積極的に行っていく。</p>
中期的な対応	<p>景気の後退期に新型コロナウイルスの流行が重なり、展示会やイベントの中止や撤退を検討する企業も見られるため、営業・顧客管理体制を整え積極的な新規顧客開拓に取り組む。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、県と指定管理者で連携して新規顧客開拓に努めていく。</p>